

## 新入医局員からのメッセージ（2022年度）

### 川村 竜也 先生

この度、岩手医科大学泌尿器科学講座に入局させて頂いた川村竜也と申します。初期研修は岩手県立二戸病院にて学ばせていただきました。私は学生の頃から泌尿器科の診療範囲の広さと手技・処置の多様さに興味を持ち、研修生活を送ってまいりました。

途中、他科で悩むこともありましたが、実際に岩手医科大学泌尿器学講座で1ヶ月研修をさせていただき、外科的手技だけでなく、内科的な全身管理も学べること、また先生方の人柄に魅力を感じ、入局することを決めました、まだまだ力不足な面が多く、ご迷惑をおかけするかと思いますが、少しでも岩手の医療に貢献できるよう努力いたしますので、よろしくお願いたします。また、学生・研修医の皆様には一度でも実習や研修などで泌尿器科に触れていただき、興味をもってもらえれば幸いです。ぜひ一度いらしてください。



### 森若 誠 先生

岩手県立宮古病院研修医の森若と申します。このたび岩手医科大学泌尿器科学講座に入局させていただくこととなりました。

大学5,6年時の臨床実習で感じたことは、手術だけではなく透析などの全身管理や抗癌剤治療という外科的・内科的両方の側面があるということでした。また、岩手医大泌尿器科学講座の医局はとても活気があり指導熱心な先生方が多い印象でした。若手の先生方も生き生きとしており、一緒に仕事したいという気持ちが強くなりました。

研修医となってからは宮古病院泌尿器科をローテートしながら2週間に1回岩手医大附属病院の手術に助手として入らせていただきました。宮古病院で前立腺生検を自ら行い前立腺癌を見つけ、附属病院にてda Vinciを用いた手術にて癌を前立腺ごと摘出するという一連の治療の流れを経験し、とてもやりがいを感じたため泌尿器科学講座への入局を決意いたしました。

泌尿器科は皆様が経験された、もしくは経験される予定である医師国家試験においてマイナー科目にカテゴリー化されています。マイナーというと少数派というマイナスなイメージを思い浮かべる方が多いかもしれませんが、マイナー科であるがゆえに、診断から治療まで泌尿器科で完結できます。患者様やそのご家族と共に病気に最後まで立ち向かっていける科です。

医学生の皆様は是非選択実習でも泌尿器科を選んでみてください。また、研修医の皆様は是非所属病院の泌尿器科もしくは岩手医大泌尿器科をローテートしてください。見学も大歓迎です。私たちはいつでもあなたたちをお待ちしています！



### 豊嶋 萌 先生

この度岩手医科大学泌尿器科に入局させていただきました豊嶋萌と申します。2020年3月に岩手医科大学を卒業後、函館五稜郭病院にて2年間の初期研修を終え、岩手県に戻ってまいりました。

学生時代、ポリクリやスーポリで泌尿器科の先生方にお世話になり、大学病院はもちろんのこと市中病院での実習や学会参加などを通して、志望科の1つとして泌尿器科を考えるようになりました。初期研修時代にも札幌医大の先生方のもと、様々な症例、手技を経験させていただき、泌尿器科の魅力を感じていただいた上で、最終的に生まれ育った東北で泌尿器科医としての道を歩む決意をした次第です。

泌尿器科は診断から治療まで自分達で完結することのできる科であり、扱う臓器も様々です。男性患者さんがメインの科だと思われがちですが、腎臓、尿管、膀胱など、女性にも共通する臓器が多くあり、また、疾患によっては小児特有のものもあるため、年齢や性別を問わず多くの患者さんの治療に携わることができます。それゆえ、やりたいことが沢山ある人にも、進む方向がなかなか決められない人にもお薦めできる科だと考えています。

また、岩手医大の泌尿器科には、学生や研修医に近い距離で親身になって接して下さる優しい先生方が多くいます。泌尿器科という診療科そのものも十分魅力的ですが、岩手医大泌尿器科のアットホームな雰囲気はその魅力をより一層引き立たせてくれる環境です。少しでも興味を持った方はぜひ雰囲気を味わいにきてください。



### 関口 季詠 先生

この度、岩手医科大学泌尿器科学講座に入局させて頂きました関口季詠と申します。私は青森県八戸市出身で2020年に岩手医科大学を卒業しました。大学在学中には研究室配属で泌尿器科を希望し、da Vinciに関連した研究をさせて頂きました。いま思うとその頃から多彩な臓器・疾患を扱う学問的な面白さとユーモア溢れる上級医の先生方に心を惹かれていましたような気がします。

実際に研修医になってからもあらゆる診療科から泌尿器科へコンサルトを受ける機会が多く、その専門性の高さとも必要性にも魅力を感じました。感染症、悪性腫瘍、腎不全、代替医療など、こんなにも多くの分野を勉強できるのは泌尿器科だけではないのでしょうか？学生、研修医の皆様にはぜひ泌尿器科を回っていただいて、何かひとつでも興味を持っていただけたら嬉しいです。まだわからないことだらけですが、一生懸命勉強させて頂きますので、よろしくお願致します。



### 小笠原 慶太 先生

このたび、岩手医科大学泌尿器科に入局させていただくことになりました、小笠原慶太と申します。どうぞよろしくお願いたします。

私は岩手県盛岡市生まれ、岩手医科大学を卒業し、岩手県立中央病院で初期研修時代を過ごした、生粋の岩手県民です。大学・研修時は、泌尿器科の多くの素晴らしい先生や、仲間とかけがえのない時間を過ごすことができました。多くの科で多くの先生方にお世話になりました。その中でも泌尿器科領域は、内科的領域から外科的領域まで幅広い診療を行える科である事に魅力を感じ、また手技や手術の種類が多いことも入局の決め手の一つになりました。また医局の雰囲気もとても良く、患者さんの為に医局一丸となって治療に当たれるところもとても魅力を感じております。

4月より、岩手県立中央病院で働かせていただきます。本格的に泌尿器科医として診療させていただくことに心躍っております。現状では、知識も実力もない駆け出しでございますが、1つ1つ学ばせていただき、経験を積んで参りたいと思っております。まだまだ、未熟でご迷惑をおかけすることも多いと思っておりますが、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

